

巴里市公立幼稚園

宇佐美 敬

女子師範附屬幼稚園

日本に於ける師範附屬幼稚園と同様生徒の實地練習の爲めに設置されてゐる。幼兒數は全體二十五名位。その中すでに海岸に轉地したのもある由（六月十日參觀）十四名であつた。一組で一人の先生が受持つて居られる満四歳から六歳までし、かし新學期は暑中休日後で満六歳に達しなくとも優良の小供は五歳何ヶ月で學校へ進むといふ。保育室には大きな先生の机が教壇の上にあつて黑板があり幼兒の机の並べ方が二人用のものである

點凡て日本の學校式である。しかし先生の机といふのは所謂教卓式でなく先生私用の大きなデスクでその上には先生のカバンから書物からいろいろのものがのせてある。學校でも同様であるが歐州（米國も）では日本の學校のやうに立派な教官室といふものは余り見ない。勿論先生の休息室はあるがそれで所謂先生の机は皆教室の一隅にある。幼兒の身長と机腰かけのつり合などは余りに考慮にいれて居らぬやうに見うける。別段の裝飾もなく小さな戸棚が一個おかれてあり据えつけのもの二個。積木が一つ籠にもられてあるのを見ると思

物を一つの玩具として取扱はれてゐるらしい。人形が二つ三つ出てゐて其衣裳箱がある。何しろ余り廣くはない部屋一つ、他に共用の遊戯室、庭も専用のものでなく本校の生徒と一緒にすみの方に小さくなつて遊んでゐる。其庭に何もない。實に何にもない。砂場さへないのである。勿論小供の自由に摘む事をゆるさるゝ草一本ない。海岸にもゆかれずに出てゐる幼児といふ事になるその小供たちは中以下の階級のものらしく見うけるが何れも顔色がわるく細く神經質らしく見える。いつた巴里で見る幼稚園の小供小學校の生徒も健康状態が余りよくない様に思はれる。公園などで遊ぶ小供を見ても同様の感じがする。師範學校附屬といつたならば小供の質も家庭状況も他より勝れてゐる筈の様に思はれるが、そして學校としても規定し暑中休日前に約半數も（たとへ幼稚園といつても）お休みさせるといふ點から考へて巴里に於

ける幼稚園が、教育の第一義の價値に就ては考へ方がよほど我々と違つてゐる事を思はせられる。

保育の實際を見る。まづお部屋にはいつて机の上をふき各自のお掃除がすむと先生がきれいな模様のある大きい殆ど自分の机面一ぱいになる紙を渡すと、皆それを机上にしく。小供の一番すきなお人形を前の方の机におき、これからそのお人形のお顔をこしらへるといふことになつて、人形のお首だけの素畫を一枚づゝ小供に渡す。小供はお行儀よくまつてゐると先生は長さ一インチ幅三インチ位の紙片に眼鼻口髪の毛等と文字の書いてある紙を與へるその紙を誤りなく顔の各部分におく先生は机間を廻つてその誤りを正す。次に先生はその中の髪の毛といふ文字を黑板に書かれてスベリングと發音の練習をする。可なり丁寧に一人／＼の誤りを正す。やがて小供はスベルを分割して帳面に幾つも書き、終りに髪の毛と綴る。先生は一々

その書いたものをなほされる。これが約三十分續く、その日は髪の毛といふ文字を習得したわけである。終つて先生が窓をあけて唱歌を始めた。ピアノは勿論オーガンもない。先生は音叉を持たれ自分で最初の音をしらべて幼児と共に歌はれる。アクビをする、ノビをする、他見をする、無理もないと思ふがしかし皆おとなしく可なりの長い時間の課業に堪えてゐる。感服する。

庭に出て二十分位遊ぶ。その庭は前に述べた通りである。

一寸、七八歳といふ組の唱歌と算術をのぞく。此處でも音叉を用ひて居られた。幼稚園の方を更に參觀する。計へ方の時間といふので、一人の子供に好きな玩具を八つ持つて來ることを命ずる。色の塗つてある立て、遊ぶ棒のやうなものを持つて來て先生の机の上になてる。一人を呼んで、一つをたほさせて皆に數へさせる。引き算のち稽古である。

次に二つと順次に計へ同時に先生が次のやうに板書する。そ 前に小供各自にお式を書かせる。

$8-1=7$ $8-2=6$ ……

$$\begin{array}{r} 8 \\ -1 \\ \hline 7 \end{array}$$

次に先生はその計算を板書される。幼児がまた此通りに書く。十以下の加減は幼稚園で教へる。計へ方は四十まで教へるといふ。

佛國人が智識に於て勝れた國民であり、ことに數學に於て世界一を誇つてゐるといふことを聞きますが、教育が非常に知的教育に傾いて居ることはたしかのやうですが、幼稚園のこの實際を見て余りの事に驚いた事です。あの弱々しい顔色のわるい子供たちを、かうした教育法で幼稚園時代を過ごさせることは如何のものかと考へさせられたことです。

公立小學校附屬幼稚園

巴里市は二十區にわかれ、各區に五個の公立小

學校があり、その各校に幼稚園が附屬し各百人以上二百人以上の幼兒を預る。十八區にある幼稚園を見る。

満二歳より六歳まで百二十人余四組にわけて、先生が四人午前九時より午後四時まで、六時までの間に母親が迎へに来る。我國の托兒所のやうである。巴里の公立小學校は無月謝で中流以下労働者の子供が多く學ぶ。自然場所も市のはづれ、工業地帯にある。日本の托兒所のやうなものはない。兒童預り所があるが、その事は後に記す。両親ともに働きに出る人たちの子供は皆、この公立幼稚園に預るわけである。上流の小供或は富裕の家庭ではナース、ガバナスが教育して余り幼稚園小學校に出さぬやうである。幼稚園の盛になりかけたのは約二十年前からで、特に大戦後その數も増し幼兒も増したといふ。

此幼稚園ではお晝はお辨當を持つて來、持たぬ

ものは日本金六錢で食事を與へる由、年長らしい主任の先生が親切に案内してくれ、各部屋を見る。此處もやはり學校式である。一室に三四十人はいるわけ、先生の工夫になれる教具ともいふべきもの、數に關するもの、文字の教授發音の稽古に用ゆる種々見せて説明してくれた。満三四歳で十以下の加減を教へ計へることは百位まで。五六歳で乗除を教へる。文字は單語を教へ、書くことは年長組になつてする。その教具(玩具といひたいが余りに知的で何としてもおもちゃとはいへぬ)を澤山見たが、よくもかう澤山工夫したものとたゞ感嘆した。さてそれ等を如何に興味あるやうに取扱ふか實際を見ること 出來なかつたが、個人／＼に自由にといふ事はのぞめぬ事と思はるゝ故、多分師範の附屬に見るやうに、一せいにすることと思ふ。とにかくかうした方法のよしあしは別として、幼稚園でかうして數の取扱ひの初歩と文字とを教へ

て學校がその先きに續くとしたら可なりの進歩、時間の經濟と思はれる。學校初年級との連絡に就てたづねた。その級全部が幼稚園を経てゐるといふわけでないが家庭で母親なりナースなりが教育してゐるものも大體文字を持つてゐる。一方幼稚園では學校のやうに教授するといふわけではないから幼稚園からのものが皆同程度で文字が讀めるといふわけではない。そこで最初全級を一緒にして全く文字も數もないものと幼稚園からのと多少の文字のあるものと二組にするといふ。尙フランスには一年生の下に準備級といふのがあつて、おかれてゐるものは一年そこを経て一年級に上るやうな編成になつてゐる（アメリカのある公立小學校でも同様の編成になつてゐたのを見た）

幼児のかいた繪を見せて貰つたが、大して日本の小供とちがはぬ、ぬりつぶしもする、型をあてても描く。先生の寫生などいふ可愛いゝゑもあつ

た。色の觀念を正しくいれる爲めの工夫かと面白
いと思つた。日本の櫻草のやうな花をきりぬいて
白紙の上にはつてある葉にやゝ濃淡がついて居る
他に同じ形にきりぬいた花と葉を幼兒がもつて、
その花の上に葉の上につく／＼おいてみるなどの
事を實におとなしく、しづかに、たのしそうにし
てゐた。恩物の箸環の應用として半圓四分圓の大
小の美麗式模様を先生が考案して單純な色で紙に
その模様をかいてあるのを小供に與へる。小供が
その上に環をならべる。又簡 名家とか、箱、戸
棚その他小供に近い器物を色箸の太さに縁をとり
つまり箸ならべの工夫といふわけで、その縁を美
しくゑの具を用ひて書いた紙の上に幼兒がまた箸
をならべる。かうした恩物を取り入れた遊びは昔
の古い方法として省みられぬ今日の日本の幼稚園
の事を思ひ、かうまでたのしそうに落つきを見せ
たフランスの小供の遊びを見て、自分としては深

く考へるところがあり、落つかぬ日本の小供、と
きく幼稚園からの小供は注意力が足りぬとかの
學校のおこぼとのあることをきき、幼稚園教育の
手段としての種々の遊びの上に實際家が理論的研
究は勿論大切であるが、統系を作つたり表を作つ
たりする一方玩具の研究、遊びの種類の研究が必
要ではあるまいかと思はれる。

遊戯を見せて貰ふ。リトミックに就てたづねた
が、とういれて居るといふ。ごく簡單なもの、たゞ
歩き方位であつた。バリの田舎でどるといふダ
ンスを見せて貰ふ。唱歌を二つばかり、幼兒は概
して活氣がない、可なり汚ない着物を着てゐるが
それほどでもない。庭はせまく、ことに全部アス
ファルトである。勿論何一つ運動具がない。巴里の
幼稚園が余りに子供の健康について考へることの
少ないのをかなしく思つた。ずつと以前大阪江戸
堀の膳先生時代の幼稚園を參觀したとき、都會の
子供を自然に親ませやうとしての先生の苦心の澤

山のあらはれを見た事を思ひ起した事であつた。
更に二十區にある新築の公立小學校附屬幼稚園
を見る。二階建の相當廣さのもの、此處には百八十
名の満二歳から六歳までの幼兒を預る廣い遊戯室
食堂湯殿の設備もある。遊戯室の一隅には湯と水
の出る流しがついて居り、湯殿には湯ぶねがあり
子供たちの母親が歸る前或は適當な時に來てお湯
をつかはせる。母親たちは喜んで自分の小供の順
番の來るのをまつていれさせるといふ。大體に於
て前述の幼稚園と同じである。顔色の悪い細い
子供が多い。

巴里で私立の幼稚園を見たいと思つて、學務課
の紹介をえたが夏休み前で幼兒の數は少し御目に
かけることは出來ぬこととほられた。一寸庭先さ
からのぞいただけであるが、余り廣くはないが花
の咲いてゐる庭もありやゝゆとりがあるらしく此
處ならばどうか幸福な子供の遊びが毎日なされ
ることだらうと余りにも氣の毒な先きに見た幼稚
園の小供の上を思つた。